

用語の解説

1. 世帯類型

世帯類型は、次の分類による。

(1) 高齢者

男 65 歳以上、女 60 歳以上の者だけで構成されているか、またはこれらの者に 18 歳未満の者が加わった高齢者世帯をいう。

(2) 母子

現に配偶者がいない（死別、離別、生死不明および未婚等を含む。）18 歳以上 60 歳未満の女子と 18 歳未満のその子（養子を含む。）だけで構成されている母子世帯をいい、「死別」「離別」と「その他」に区分する。

(3) 障害

世帯主が障害者加算を受けているか、身体障害、知的障害等の心身上の障害のため働けない者である障害者世帯をいう。

(4) 傷病

世帯主が入院しているか在宅患者加算を受けている世帯、又は世帯主が傷病のため働けない者である傷病者世帯をいう。

(5) その他

上記のいずれにも該当しない世帯をいう。

2. 就労の状況

就労の状況は以下の分類による。

(1) 自営

他人に雇われることなく製造、生産、加工、仕入れ、販売またはサービスの提供もしくは、これらの仲介事業等（内職を除く。）を個人または共同で営んでいる場合をいい、次の区分により記入する。

① 農業

農作物、果樹、茶、花類の栽培もしくは、養蚕、養畜（鶏）等に従事している場合をいう。

② 農業外

上記「農業」以外の自営事業に従事している場合をいう。

(2) 常用

1 か月以上の雇用契約によって他人に雇われ、給料、賃金等を得ている場合をいう。

(3) 日雇

形式の如何にかかわらず、日々または 1 か月未満の期間を定めて雇われ、給料、賃金等を得ている場合をいう。

(4) 内職

問屋、その他から材料の全部、または一部の支給を受けて、自分の家庭内で必要な加工を行い、その製品を注文主に納めて報酬を受けている場合等であって、その仕事がいわゆる内職とみなされる程度のものをいう。

(5) その他

就労内容が上記のいずれにも該当しない仕事に従事している場合をいう。(入院患者等が院内・院外作業で収入を得ている場合を含む。)

(6) 不就労

調査時現在、不就労である場合をいう。

3. 障害・傷病の状況

障害・傷病の状況は以下の分類による。

(1) 障害者

次の1～3により、障害者加算を受けている者または障害、知的障害等の心身上の障害のため働くことができない者、もしくはそれと同等の状態にある者をいう。ただし、「1精神障害」については、障害者加算を受けている者のみとする。

① 精神障害

精神病等の精神障害による者をいう。

② 知的障害

知的障害による者をいう。

③ 身体障害

身体障害による者をいう。

(2) 傷病者

次の1～3を主傷病として、入院しているか在宅患者加算を受けている者または傷病のために働くことができない者、もしくはそれと同等の状態にある者をいう。

① アルコール依存症

アルコール依存症及びアルコール精神病による者をいう。

② 精神病

精神病(精神障害)による者をいう。

③ その他

①、②以外の傷病による者をいう。